

仕事を通して名寄へ恩返しをしたい ママと赤ちゃんの笑顔をもっと増やしたい！

前田 久枝 (まえだ ひさえ) さん

カメラマン、touch communication & photo studio ikkyu 主宰

1984年名寄市生まれ。看護師として混合病棟や小児科病棟勤務の後、2013年に旭川市からUターン。ベビーマッサージやベビーフォトなどお母さんと子どもに癒しを提供し、名寄を中心とした道北各地で講師業も行っている。夫、子どもと5人暮らし。

赤ちゃんの愛らしい表情を引き出すために、笑顔でじっと待つ久枝さん

北海道に移住（U・I・Jターン）して、新たな取り組みをする輝く人を紹介するインタビュー。お話を伺うのは、北海道各地を探訪し想いを形にする人との出会いをつなぐ、地域プロデューサーのかとうけいこさん。11回目となる今回は、移住者と地元の人をつなぎ、新米ママたちが抱える悩みを自身の経験を基に伝えて和らげる。そして一歩進むためにそっと背中を押している、名寄市の前田久枝さんです。

Uターンのきっかけを教えてください

高校卒業後念願だった看護師となり、結婚後も旭川で働いていました。第一子が一才半の時に大好きな仕事に復帰しました。でも、勤務が不規則だったので、週末やクリスマスなど子どもと過ごしたいイベントの時に家にいられず、母親としてこれでいいのだろうか、考え込むことが多くなりました。そんな中、第二子を授かり、子どもとの時間を充実させるためにも家を建てようと思いました。定住の土地は旭川がよいの

か、別の場所だとしたら最適地はどこなのか。そして自分はどこで何をして、どんな仕事をして暮らしていきたいのかを真剣に考えました。

名寄は私の地元です。子どもの頃のびのびと近所を走り回って、たくさんの人に声をかけてもらって育った記憶が残っていました。私も大切な子どもたちを、自分と似たような環境で育てたいという気持ちになりました。

子育てをしながら、様々な学びを始めた理由は

ベビーマッサージ教室が最初の学びでした。現役の看護師（小児科担当）なのに、知らないことばかりの内容に衝撃を受けました。そして子連れで学べたことで、精神的に楽になりました。今思い返すと、赤ちゃんは本当に可愛いのに、なんだか気持ちが沈んで、しんどい気持ちになっていた時期だったのかもしれない。この実感をほかのママにも伝えられるかもしれない、伝えたいという思いが強くなり、ベビーマッサー

ジ講師の資格を取りました。次は、汗疹がひどかった息子をなんとかしたい！と学んだベビースキンケア、続いてベビーグラファーという赤ちゃん専門のフォトグラファーの資格も取りました。最近、これらの資格を活かし、道北の各地で教室や研修会を開く機会も増えています。ここで出会ったママたちの中から、同じような仕事をしたいという人が増えてくれたら嬉しいです。

名寄の女性、移住者たちは輝いていますか

移住して8年になります。私の周りで少しの勇気を出して、やりたいことを実現させようという人たちが増えてきたように感じます。輝く人からパワーをもらって、自分も何かに挑戦してみようというプラスの波動、良い連鎖が生まれているように思います。私も周りのママと赤ちゃんが幸せに包まれるような瞬間が増えるように、サポートできたらいいなと考えています。

名寄の良さってなんでしょう

進学で名寄を離れたので、学生のころは都会には遊ぶところもたくさんあっていいなあと思っていました。でもママになって名寄に戻ってみると、親子ではだしで走り回れる美しい芝生の公園がいくつもありました。基幹病院や市立大学、文化ホールもあって、安心して子育てできる環境が揃っています。子どもの声ができることが当たり前で、貴重なこととさせていただき方がほとんどです。子育て家族が大切にされているまちだと感じます。

夢や今後についてお聞かせください

移住者や転勤者が多い名寄で自分ができること、求められていることを一つずつ、無理なく行っていきます。例えば、名寄市の移住促進協議会さんから、移住者としてHPに登場してほしいと依頼されました。その時のご縁から、2020年からはこのHP制作で移住者へのインタビューに立ち会い、その方の表情を撮影する仕事をいただきました。その流れで、子育て



身近なママしか撮れない写真撮影のコツを教えている

ママを対象とした移住相談（東京）イベントに移住者兼子どもを可愛らしく撮影するカメラマンと呼んでいただき、ミニ講座を担当しました。

そして、大きな夢を持っています。名寄、そして道北地域で産後鬱をゼロにしたいのです。「産後イライラしてしまっても大丈夫。そんな自分も認めてあげて」と伝えながら、ベビーマッサージや、ママへの手足のマッサージをゆったりとしてあげたい。赤ちゃんの写真スマホでより可愛らしく撮影する方法も教えたい。知り合いの少ない土地で子育てをするママを孤独にしないために、自分の経験すべてを活かして支えていきたいです。

(2021年4月取材)

インタビュー後記

2021年1月に名寄市の移住促進PR事業で、地元在住カメラマンの久枝さんと一緒に仕事をしました。移動中に、育児に向き合う時間を大切にしながら仕事をしていることを知りました。与えられた時間の中で、「好きなこと、やってみなかったこと」を着実に仕事にしていく姿は同じ境遇の女性たちの励みになると思いました。そして、故郷の名寄に恩返しをしたいという気持ちが伝わる人でもありました。
かとう けいこ (株)まちづくり観光デザインセンター代表

名寄市の移住促進のためのPR事業
～北海道のおすすめ移住先 大自然とほどよい都会を満喫できる街「名寄市」は、こちらをご覧ください。
URL : <https://www.pretty-online.jp/news/2593/>